学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	機械実習①	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次で習得した機械加工の知識と技術を応用し、より深い加工技術を学ぼう。
工作機械・工具・刃具・測定具を大切に扱い、図面寸法通りに工作物を加工しよう。
服装や身だしなみに気配りし、安全に作業するよう心掛けよう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
作業工程に適した刃具の選定、および工作物の取り付け等の準備作業を確実にできる技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
整理・整頓に配慮し、作業環境を整えて安全作業を実践し、加工後に改善点や課題を見出すことができる。
加工中は工作物から目を離さず、集中して作業し、各種の測定具を正しく扱うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
整理・整頓に配慮し、作業環境を整えて安全作業を実践し、加工後に改善点や課題を見出すことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種工作機械・装置の構造・使用手順を理解し、作業前点検・動作確認・終了点検まで一連の操作が確実に行える技術を身に付ける。 周囲の整理・整頓に気を配り、安全に作業するよう心掛ける。	各種工作機械・装置で製作可能なのかどうか、どのような準備と作業手順が必要かを考え、実践することができるようにする。 また、各種の測定具を正しく扱い、図面寸法通りにできたかどうか検証し、より段取りよく作業するよう思考する。	各種工作機械・装置を自在に操り、図面の寸法通りに加工できたかどうか測定具を使用して考察し、改善点や今後の課題を見出す力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	旋盤作業	・基本操作の確認 ・円筒切削 ・段付き切削 ・テーパ切削 ・ねじ切り切削 ・穴あけ切削 ・中ぐり切削	a:機械の動作を熟知し、寸法通りかつ正確にまた安全に配慮して操作している。 b:作業工程の違いによって刃具・工作物の取り付け方を判断し、迅速に作業できている。 c:準備作業が迅速で段取りよく作業が進み、作業終了後、速やかに片付け・清掃に取りかかった。	作業態度 口頭試問	作業手順 作品評価	作品評価 整理整頓 レポート
	フライス盤作業	・基本操作の確認 ・平面切削 ・溝入れ切削 ・六面体加工 ・凹凸加工 ・すり割り加工 ・摺り合わせ作業	a:機械の動作を熟知し、寸法通りかつ正確にまた安全に配慮して操作している。 b:作業工程の違いによって刃具・工作物の取り付け方を判断し、迅速に作業できている。 c:準備作業が迅速で段取りよく作業が進み、作業終了後、速やかに片付け・清掃に取りかかった。	作業態度 口頭試問	作業手順 作品評価	作品評価 整理整頓 レポート
後期	手仕上げ	・手仕上げ作業の種類の確認作業 ・各作業工具の役割と取り扱いの確認作業 ・けがき作業 ・やすり作業 ・朱当たりによる平面出し作業 ・タップ・ダイスによるねじ切り作業	a:作業工具の使用法と取り扱いを熟知し、寸法通りかつ正確にまた安全に作業している。 b:作業工程の違いによって工具・取り付け方法を判断し、適切に作業できている。 c:準備作業が迅速で段取りよく作業が進み、作業終了後、速やかに片付け・清掃に取りかかった。	作業態度 口頭試問	作業手順 作品評価	作品評価 整理整頓 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度